

選挙の大切さが授業で習ったときよりもより深くしれてよかったです
すべての世代が投票しないとこの日本、地球が悪くなることがわかり、とても選挙が大切だということがわかりました。
日本と他の国の違いがわかったので他の国ではどんなふうに投票しているのか調べてみたいと思いました。それに、今からを生きる若い人たちが投票をすることがわかりました。
日本では若者による選挙の投票が他の国とは遅れているとわかった。フィンランドでは自分たちと同じ年齢の人が選挙に出て政治活動に参加しているので見習うべきだと思った。課題が山積みの日本もやるべきことをしっかり決めるべきだと思う
選挙に出ることは若い人からも意見を聞くことにもあるので選挙には積極的にやりたいです
人から情報を与えられるだけでなく、自分から、情報を得たり、行動することで、自分たちがより住みやすいところになるんだとわかりました。
自分たちはいま公民でちょうど選挙のこととかを習ったけど、習ったのは日本のことだけで、フィンランドなどを見てみると15歳向けに選挙に関わることが行われていたりしてすごいなと思いました。
自分も投票できる歳になったら選挙に積極的に行くようにしたいです
公民で学んでいた、投票率のことで、若者の投票率が少ない話を詳しく聴いたり、若者の投票率が少ないと起きることについてをゲームをして考えたのでよく理解することが出来ました。
今は若い人たちの投票率が少なくなってきたいて自分は他人事として聞いていたけど、若い人たちが投票しないと日本の未来は50代、60代と高齢者の意見ばかりが反映されてしまうので若い人のたった一票でも大切なんだとわかりました。
自分がまだ選挙の投票ができる歳ではないから、あまり馴染みがなかったけど、今日の話聞いて改めて若い年代も投票することの大切さを知りました。他の国では、授業を聞くのではなく、自分で調べて発表することで、より考えを深めていることがわかり、日本でももっと選挙について考えを深めていくことが大事だと思いました。
これから私達が関わる選挙の大事さについて教えてもらって、選挙に行くことで自分たちの生活に関わるので18歳になったら選挙に行こうと思いました。選挙をする世代が偏っていると意見が偏ってしまって若者にとって良くないようになっていくので全部の世代が同じくらいに選挙に行けばいいと思いました。
若い世代の選挙が少なく、意見はあるのに選挙に行かないから反映されない。それで色々決まったら文句を言う。それはいけないと思ったし、経験が多い世代が全部決めてしまうのも違うとおもいました。今のうちから選挙の現況をしていたら選挙できる年齢になったとき、誰に入れるべきかわかると思います。
なかなか神戸新聞の方に直接教えてもらうことがないので貴重な機会だったと思いました。自分たちが18歳になってから、投票に行くか行かないかで自分たちが一番関係する未来の政治が高齢者などの大きく違う意見が反映されることになるので自分たちが一番自分と同じ意見の人にしっかり投票しようと思いました。
そして、外国でされている取り組みもすごいなと思ったので日本でもそのような取り組みが増えていけばいいなと思いました。
今は選挙とかはまだできる年齢ではないから、選挙に関しての事は詳しく分からなかったり、まだ身近だとは思わなかったりしていたけれど、公民の授業とか今回の出前授業で選挙できる年齢になったら自分たちがこれからの時代を担っていくことになるので、慎重にできるだけ多くの若い人が選挙するようになったらいいなと思った。
18歳になったら選挙で投票すると思うので今のうちに投票の大切さなどを知ることができたので良かったです。
選挙することの大切さを再び実感しました
自分たち(若者)が投票することで若者の意見が反映されることを知りました。授業では習わなかった投票率で結果がかなり変わることには驚きました。一人一人が投票に行くことで世界の情勢の対応の仕方だったり変わってくるので僕は18歳になると投票に行きたいと思いました。
僕たちは今選挙に投票することができないけれど今日覚えたことで18歳になってから投票して少しずつ大人の階段を登ろうと思いました。
社会のためにとっても勉強になりました

僕たちはまだ15歳で選挙の投票に行けないけど、僕たちが18歳になったら絶対に選挙に行ってこれからの日本を任せれる人に投票したいなと思いました。

今回の出前授業で改めて選挙の大切さを学びました。国を動かすために未来のためにそのようなことに向けて動けるリーダーを選ぶために、自分たちの意見を取り入れてより良い世界を作るためにしっかりと選挙に参加して自分の投票をするべきだと思いました。

投票をしなかったら自分が思っているような国にはならないから自分の意見と全く同じ公約のひとがいなくても似た公約の政治家に投票をすることで国を変えることもできるから投票に参加できるようになったら投票をすることが大切だとわかりました。

選挙に行かないと、年上の方の意見しか通らずその人達の思うようになってしまうので、選挙に行こうと思いました。また、私は、平和に暮らしているので今の日本や世界の現状を知りませんが、食糧問題や経済格差など問題があるとわかりました。やっぱり政治は他人事にするのではなく、しっかりと関わろうと思いました。

これからの未来を担う私達が選挙に行かなかったら、若い人たちの意見が国の政治に反映されなくなるので、18歳になったら選挙に行くことが大切だということがわかりました。私達が選挙に行かなかったら、未来は作れないので、自分で考えて判断して行動したいです。社会の授業で、政治の勉強をしているけど、今回三好さんに授業をしていただいて、さらにもっと政治に興味を持ちました。

選挙をゲームみたいに体験をすることで、親近感が湧いたり、自分ひとりだけが選挙をしないだけでも、結果にすごい差があったり、有権者一人あたり、一票を入れなかっただけで、205万円もの損をしてしまうことがわかり、びっくりしました。今日、選挙についてより詳しくしれたので、選挙の大切さや、重大さについて学ぶことができました。なので、自分が18歳になったときには、選挙に行くのを面倒くさがらずに行かないといけないなと思いました。

今日神戸新聞の方の話を聞いて18歳から選挙に行くことは大切で投票率が若者は低いので1票でも多く入れるためにも周りが行かなくても自分は行くべきだし、自分と同じ意見が見える範囲では多くても投票しなければ意味がないことも気づきました。今日学習で学んだことこれからの生活に活かしていきたいと思いました。by親切な社長65歳

選挙は18歳からだから自分には、全く関係ない話だと思っていたけど実際は結構関係あったので、18歳から出来たら選挙に行けたら行きたいです。

社会で勉強したことは選挙の年齢などを習ったけれど、投票しなくなると政治家が困るし、1票投票しなかったら200万の価値が一人の1票にかかっていると聞いてとてもびっくりしました。なのでこんなに価値があるとお母さんも選挙市に行っているのですそのついでに一緒に選挙にいった投票したいなと思いました。

海外には、子どもたちも意見を言えるようになっていてすごく発達していていい国だなと思いました。

若者の投票率が低下しているということは知っていたけれど、それが250万円も損をするような重大な事態だということは初めて知ったのでとても驚きました。自分の一票が今後の世界情勢にもつながるのかと思ったら投票に行くことの重要さがよくわかったので、18歳になったら自分の意見により近い意見を持った候補者に投票しようと思いました。

今の選挙権は18歳以上だけど、だんだん投票率が低下していて政治が危ない状況なので私達が選挙権を得られたら積極的に選挙に参加するべきだと分かりました。色々な国で戦争が行われていて危険な状況だけど、私達は平和に過ごせていて本当にありがたいことだと思いました。

今日は日本の選挙に関することや阪神淡路大震災の新聞記事地震に対する最近の人々の関心が薄れていくことに対する危機感や選挙の賛成反対の演説を実際に自分たちがゲーム形式でやりわかりやすく理解することができた。それのお陰で自分たちが選挙に行くことに対する価値や行くべき理由なんかがしうことができ自分は18歳以上になったら選挙にぜひ行ってみようと思うことができた。

選挙に興味がないわけではないけど自ら今の選挙の状況を知ろうとはしていないので今の年齢から選挙や政治状況を知る癖をつけておきたいなと思いました。選挙以外の災害のことを自分たちや次の世代に伝えるために自分が昔の災害を知っていききたいと思いました。

選挙はとても大事なことでより良い国をつくるためにも18歳になったら選挙に投票したいと思った。

私たち若者が投票・政治に参加していかないと、これからの日本の未来は高齢者の意見だけが反映されてしまうということが分かった。だから、選挙権が与えられる18歳になってからちゃんと政治に参加していきたいと思った。選挙権が与えられていない今でも、政治についてよく学んでおきたいと思ったし、公民の授業で学んだことを活かしていきたいと思った。

未来のことを考えるなら、いろんな世代の人が特に若者の人が選挙に行くことで未来が明るくなるし、より良いことしかないとわかりました。驚いたことには、選挙にはお金がかかっていて、約200万円ぐらいかかっていることが選挙はとても大事ということがわかりました。自分も18歳になったら、選挙に行こうと強く心に思った授業でした。

自分たちが選挙に行くことで、未来を変えられるかもしれないし、自分の意見にあった人を選び、より良い国にできるということがわかりました。

今の年齢じゃ選挙に行けないけど選挙に行ける年齢に鳴ったら自分の意見を投票できるようにしたいと思いました。自分などの若者が意見を投票しなかったら年寄り、高齢者の思うままの世の中になってしまうのでそれはなりたくないの自分たちなどの若者が意見をこれからどんどん投票していきたいと思ったしそのような世の中になってほしいです。

あんまり未来のこととか政治のことを考えたことはなかったけど、今回の授業で高齢者のほうが選挙に参加しているとしました。なので、僕たちが18歳になったら選挙に参加して若い人の意見も政治に反映していかなければならないなと思いました。

公民の授業とかで政治のこととか選挙のことをたくさん学んできたけど今回の授業で僕たちのような若い人が政治に参加したり、選挙で投票する大切さを学べたので、良かったです。

自分たちが18歳になったときに選挙に行く理由や選挙の仕組みなどが詳しく知ることが出来てよかったです。

今回の授業で、「選挙に行かなければこの日本という国に未来はない」というのがとても印象的な言葉でした。日本の政治や選挙は世界から見ると遅れているように感じられ、もっとたくさんの人に選挙に行ってほしいし、政治について深く考えてほしいなと思いました。だから私は有権者になったら選挙に行き自分が気になる政治について、学びたいと思うし、これからの日本の未来について知りたいです。本日は政治について考える機会を下さりありがとうございます。

自分の意見を日本の政治に通したいときには、自分で選挙に行き投票することが一番効果的だとわかりました。

今日の出前授業を受けて自分たちが投票に行かないと自分たちの求めることも意思表示ができないから自分が防災のことに興味があるのなら防災について感じて自分の考えに一番近い人に投票することが大切だとわかりました。若者が投票しないと高齢者の意見ばかりが反映されてしまうから。自分たち、若者は自分の意思表示のために投票に行くことが大切だと思いました。

今日の神戸新聞の方の話を聞いて、選挙に行く大切さだけではなく、コロナや災害、戦争のことも詳しくしれてとても勉強になりました。元々、選挙ができる年齢になれば、選挙に行きたいなと思っていたけど、今日の話を聞いて、もっと興味が湧きました。しっかり自分の意見を選挙という形で表したいです。

選挙について学びました。18歳から選挙できるけれど、25歳になると立候補できるようになるということについて知った。これから18歳になっていくに連れて選挙のことについて考えようと思った。

今日の授業で選挙に行かなかったら自分にどんな影響があるのかや、コロナ禍で痛感した、ニュースの大切さなどを改めて知ることができました。海の向こうの国で起きている出来事が自分にも影響を与えるかもしれないと思うと他人事にはしておけないと感じました。

オーストラリアでは、実際に学生が大臣に質問したり、模擬投票をしたりするという政治経験を政治に携われるようになる前から行っていることで、実際に主権者になったときに投票に行きやすかったり様々なメリットがあると思いました。政治などに対する意見を反映するためには、選挙に行き投票することが一番の近道なので自分が投票できる年齢になったら以降と思いました。

選挙に行き、この国を任せられる人に投票することは、これからの未来を作っていくことになることとわかりました。選挙は人を選ぶだけでなく、地震などの災害にも影響するので、私達はまだ選挙に行けないけど、今、こういう勉強をしていることで、日本をよくしていくことができるとわかりました。

選挙はまだ体験したことがないし、これから体験するまで何年かの期間はあるけれど、今回学習したことを忘れずにいたいです。日本も外国の政策などを真似したりして行けばいいと思いました。少子高齢化や虐待などまだまだ問題はやまずみですが少しでもいい国になればいいなと思いました。

公民の授業でそういう人が来ると知ったときから楽しみにしていた話だったので、そんなものがあるんだと思ったりして、面白かったです。今後今日のような話が聞けるのであれば楽しみです。

日本の若者の意見が政治に反映されにくい一番の理由は、選挙に行かない人が多いということだと思いました。私の両親が選挙に行くところを見ることも過去にあったけれど、あまり意識してあと数年後には自分が主権者になるという考えもありませんでした。今日の授業を聞いて、海外で未成年を対象にする選挙が行われていることから、日本にもそういうことがあればより政治に興味を持つ未成年が多くなるようにおもいました。

最近、公民の授業でも選挙について習ったけど、まだ投票ができない年齢というのもあって中々実感が湧きませんでした。でも、今回の神戸新聞出前授業で、未来を担う私達が自分自身の意見を投票という形で表現することはとても大切なことだと思いました。高齢の方だけではなく、若い年齢の人も投票に行くことで新しい未来につながると思いました。そして、防災や戦争など色々なところに目を向けて、将来に活かしていきたいなと思いました。

私達が18歳になって選挙に行かないと自分たちの意見は通らず、おじいちゃんおばあちゃんの意見で社会が回ってしまうことがわかりました。もし私達が大学までのお金を無料にしくても自分たちが選挙に行かなかったらそれも現実にならないことがわかりました。18歳になったら選挙に行って自分の意見に合う人に投票できるようにしたいです。

今まで公民をはじめとする色々なところで若者の投票率が低く問題になっているという話は聞いてきました。ですが「そうなんだなあ～」と思うくらいでいまいち危機感も現実感もなかったです。そんななか今日の授業では、カードを使ったゲームでは投票率の差がいかに大きな力を持っていて問題なのかがとてもわかりやすくて勉強になりました。

神戸新聞社の方から様々なことについて学びました。社会の公民の授業で学んだこともあったけど改めて選挙の大事さがわかりました。自分が有権者であることなどを忘れずにおとなになったら選挙に参加したいです。

今日の話は難しかったけれども、今自分が勉強をしていることはいつかは選挙で活かすことができ、世界を平和にする一つの方法だと築きました。有権者になったらしっかりと選挙に行って自分の意見を主張しようと思いました。

争点（防災・減災）地球温暖化が進む中で、自然災害が増えてくるし、南海トラフが来ると予想されているので、災害から多くの人を守る必要があるから。また、災害が増えて来ているので動物や人間の生命が危険にさらされないように減災をする必要があるから。

私達はまだ選挙に行ける年齢にはなっていないけど、今のうちに知っておくことでとても想像がしやすかったし、選挙に参加することはとても大切で行かないと損をする事がわかりました。親についていって選挙会場にいったことはあるので、今度は私が18歳になったら選挙に参加しようと思いました。

僕たちはまだ選挙権はないけれど、これから18才になったら今日習ったことが役立つし、社会の公民でしていてもたまにわからないので、こうゆう場所で選挙権のことをしれてよかったです。今の海外などの状況やこれからの政治の状況をしれてよかったです。

今日の授業を通して僕たち若者が選挙に行かないと高齢者のことしか反映されないから自分たちも今日の授業をきっかけに18歳になったら選挙に参加しようと思いました。

私のお父さん、お母さんともに選挙があれば必ず行きます。小学6年生くらいのときにお母さんと体育館に設置された選挙の施設に一緒に行ったことがあります。そのときぐらいに若者の選挙する割合が低いことを知りました。今日の授業を通して、私達のような若者が選挙に行かなければ日本の未来はない、若者の意見が届く社会にならないことを知りました。私達が選挙に行かなければならない理由を今日の授業を通して知ることができたので良かったと思います。

これからの日本がどうなるかは、私たちが選挙に行って投票することで決まりと心から感じました。私たちはまだ選挙に参加できる年齢ではないので、選挙に関わるのは少し先の話だと思っていました。でも、今のうちから選挙の大切さを知ることができてよかったです。18歳になったら絶対に選挙に行って、日本を変えることに貢献したいです。

自分たちはまだ選挙に参加できる年齢じゃないけど、自分が18歳になったらぜひ行きたいです。三好さんに聞いた話、生徒が発表したことなどを聞いて、自分たちが政治、選挙に参加しないとこれからの未来はないと知ったので、これからの世の中に少しでも目を向けれるようにしたいです。

自分たちの意見を政治に反映させるにはまず選挙に行くことが大切だとわかりました。自分は選挙にすごく興味があり、日本国民の一員として日本の政治を動かしたいので自分の考えに近い人に選挙しようと思いました。まだ選挙はできないけど、今のうちに選挙に関する知識をつけたり、政治家の意見を聞いたりして選挙に備えたいです。

もともと18歳になったら選挙に行きたいと思っていたし、興味は持っていたけど、どういう人に投票したらいいのかわからなかったけど、若い人が積極的に投票に行かないと意見が政治に取り入れられなかったり、自分がどんなことを政治でやってほしいのかを考えて、自分の意見に近い人を選ぶことがわかりました。まだ投票できないけど、今どんな政治をしているのかななどを、新聞やニュースやインターネットなどで調べたいし、18歳になったら選挙に行きたいと思いました。

社会の公民の授業でも、選挙について学んだりしていたけどその中でも今日と同じように若者の選挙に行く人が減ってしまっていて、このままだとその人達にとって有利な政治へとになってしまうので、もし何かしてほしいことがあったり、変えなければいけないと思ったことがあれば誰かにしてもらうのを待つんじゃなくて、自ら行動して、自分自身の手で政治を変えていきたい。SDGsなど世界には達成しなければならないことがたくさんあるからほんの小さなことでも全員がやれば達成できるから、小さな積み重ねを大切にしていきたい。

これから未来を担っていくのは私達だから、まだ選挙にはいけないけど今からたくさん政治についてたくさん学んで、今日の時間で学んだことを活かして選挙に参加したいです。

今日は、主権者教育をして10代の選挙率が低下し続けると、もし50歳以下は選挙権が廃止と言うことになったら、若者の意見が反映されずに、高齢者の意見が反映されることになってしまうことがわかりました。そうならないためにも、今日、授業で一票の価値は約205万円もすると言っていたので選挙に行けるようになる18歳になったら選挙に絶対に行こうと思いました。

10代、20代の投票率が少なく、60代の投票率が高いので若い人の意見が世の中に反映されないという現実が今起きていることが改めてわかりました。自分たちが住みやすい国にするためには自分たちが国の中心となる人を選ばなければいけないということを劇やスライドショーでわかりました。今回学んだことを18歳からの選挙で活かしたいと思います。

若い人たちが選挙に行くことに意味があるということを忘れずに、18歳になったら選挙に行きたい。私は、男女共同参画について関心があったのですが、日本は管理職で女性をもっと増やすべきだと思いました。校長先生や教頭先生など男性が多いし日本は世界でみても男女の平等がきちんとできていないと思います。様々な問題がある中、自分たちができることを少しずつでいいので解決していくべきだと思いました。